



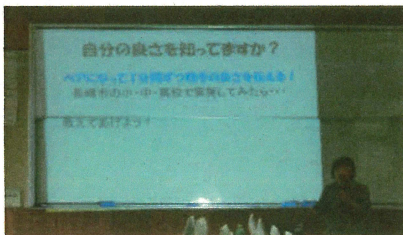
長崎っ子のこころをみつめる

教育週間

6月30日より7月5日まで行いましたこの教育週間では、特に最終日は、朝からたくさんの保護者の皆さんにお越しいただいて、暑い中ありがとうございました。

命を考える道德の授業では、1年生は日航墜落事故で犠牲になられた男性の遺書を、2年生は奇跡の回復で教壇に戻った男性の話を、3年生はアウシュビッツ強制収容所に向かう列車から助けられた赤ちゃんの話を、それぞれ教材にして命の尊さについてじっくり考えました。どの教室でも真剣に自分の考えを持ち、話し、聞き、考えを深くする生徒たちの様子が見られました。

この教育週間ではほかにも、1年生が吉松先生から「あなたは望まれて生まれてきた」という話を伺い、「素晴らしい1年生ですね」と熱心に話を聞いて考えて発言できる様子をほめていただきました。



した。

学びの多い教育週間でした。

この学びや感じたこと考えたこと

を心の根っこにしっかりと持って「人への思いやり」「自分を大事に人を大事にすること」をこれからの生活で実行してほしいと思います。



学校評議員会

7月5日土曜日、学校評議員会を行いました。評議員の皆さんには道德の授業を見ていただき、今年度の学校の様子や課題などについてご意見をいただきました。生徒たちが落ち着いてよく頑張っていることをほめていただくとともに、イノシシや不審者、災害時の避難所のことなどを日頃から確認しておくことなどを話し合いました。

3年生平和学習（発信）

いよいよ発信の日を迎えた7月8日、朝から3年生の生徒たちは元気に担当の場所へ向かいました。これまで学習した成果から、より多くの人に平和を発信する活動の本番です。国語班は原爆追悼祈念館で被爆体験朗読と紙芝居を。英語班は自作した英語のパンフレットと折鶴の配布を。美術班は平和カードをティッシュやうちわにつけて配布。理科班はクスノキ動画を見せながらキャンドルの配布。音楽班は「クスノキ」の合唱を披露、技術班ではステッカーやカードの配布。長崎大学、グラバー園、平和公園、爆心地公園、長崎駅でそれぞれ行いました。NHKの取材も入り、夕方、放送されました。一連の活動はこの後、11日金曜日に長崎大学RECNAの林田さんにまたお越しいただいて、振り返りと総括を一緒にすることになっています。暑い中でしたが、笑顔で声をかけたり配布したり、伝えることの難しさも感じながら活動することができました。外国の方や観光客の方の平和への思いなどもうかがうことができ、とても充実した活動になりました。



生徒総会

7月4日生徒総会をリモートで行いました。各学級で検討し、生徒会で整理された議題について意見が交わされました。この後、確認することや改善することなどをさらに調整、整理してまた生徒会からお知らせがあります。

